

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-2-3		事業名	新たな普及啓発拠点の整備(リユース広場)
担当	環境局環境事業部ごみ減量推進課 藤田 Tel:211-2928			
全体計画				
事業内容	白石リサイクル保管庫に代わるリサイクル収集品の保管および簡易修理のみによる市民提供(リユース事業)に活用するため、厚別清掃工場跡地に新たに「リユースプラザ」を整備する。また、同施設を活用し、各種普及啓発活動や資源回収の充実を図り拠点化する		<年度別の事業内容>	
			H19年度:実施設計 H20年度:建築工事及び竣工	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	リユースプラザ実施設計費総額:3,750千円 建築設計費:2,142千円 設備設計費:1,347千円 事務費:261千円		リユースプラザ建築費総額:106,450千円 建築工事費:84,401千円 設備工事費:15,855千円 監理費:3,116千円 事務費:3,075千円	
平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)		
(対角線)		(対角線)		

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-2-3			事業名	新たな普及啓発拠点の整備(リユース広場)		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
リユースプラザでのリサイクル品の提供数	965個(白石)	1023(白石)	1472個(白石) 599個(厚別)	1,678個 (白石、厚別)	1,945個 (白石、厚別)	1200個	
【参考】リユースプラザ来場者数	3,268人(白石)	4393人(白石)	10680人(白) 7492人(厚別)	28,975人 (白石、厚別)	25,000人 (白石、厚別)	8,000人	
【参考】リフォーム教室などへの参加者数	0	0	0	299人 (白石、厚別)	400人 (白石、厚別)	400人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 平成16年度より白石リサイクル保管庫においてリユース家具などの展示提供を行い年々市民の来場及び購入数が増えていることから、当該事業が十分市民への普及啓発事業として定着しつつあると判断し、新たな場所において本格的に実施するものとした。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]該当なし [人材協力]エコイベントなどを通じ、地域の市民団体及びNPOなど参加により地域での当該事業への支援が得られつつある [情報協力]該当なし [その他の協力]該当なし</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 各種啓発教室の開催、エコイベント会場として市民団体・NPO・学生団体などへ活動拠点としての利用開放。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>○当該施設は、平成20年12月に竣工、21年4月に開設し、オープン1年目でリサイクル品の提供数、来館者数において、計画当初の目標を達成することができ、市民の認知度の上昇とともに利用が広がっている。</p> <p>また、「地区リサイクルセンター」として、資源回収拠点事業についても回収量が大幅に増加しており、市民に好評を得る事業となっている。</p> <p>今後は、新たな普及啓発拠点としてリユース品の提供販売による啓発事業をさらに拡充して行う他、多目的な施設として各種イベントを開催し、イベントを通じて各種市民団体や企業等とコミュニケーションを図りながら、市民が参加しやすいごみ減量にかかる普及啓発事業の展開を試みる。</p>			<p>○札幌市では同内容の施設が厚別区と西区の2ヶ所となることから、今後は、2館の特徴を活かし、協力を図りながら多様な普及啓発事業の展開を検討する。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>○施設を、市民が主催するエコイベントなどに利用させることで、市民の環境への取り組みの支援並びに、市民活動の拠点として施設の有効活用を図る。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-2-3			事業名	新たな普及啓発拠点の整備(リユース広場)		
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	2,700	75,000			77,700		
	財源内訳							
	国・道支出金	1,500	30,000			31,500		
	市の債		31,500			31,500		
予算	事業費	2,700	104,000	0	0	106,700		
	財源内訳							
	国・道支出金	1,500	41,600	0	0	43,100		
	市の債	0	0	0	0	0		
実績	事業費	3,750	106,450	0	—	110,200		
	財源内訳							
	国・道支出金	1,500	42,580	0		44,080		
	市の債	0	0	0		0		
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					141.8%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
《全体》								
[19年度]								
[20年度]								
[21年度]								
[22年度]								